



平成25年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社 メディアシーク
 コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

平成25年3月1日
 上場取引所 東

TEL 03-5423-6600

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第2四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第2四半期	643	△10.4	△74	—	△38	—	△51	—
24年7月期第2四半期	718	△20.2	△49	—	△56	—	△41	—

(注) 包括利益 25年7月期第2四半期 16百万円 (—%) 24年7月期第2四半期 △38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第2四半期	△530.77	—
24年7月期第2四半期	△426.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第2四半期	2,014	1,598	76.8	15,952.68
24年7月期	1,885	1,581	81.5	15,843.09

(参考) 自己資本 25年7月期第2四半期 1,547百万円 24年7月期 1,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	1.0	9	—	10	—	1	—	10.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期2Q	97,215 株	24年7月期	97,215 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年7月期2Q	233 株	24年7月期	233 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期2Q	96,982 株	24年7月期2Q	96,982 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項・・・・・・・・・・・・	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・	5
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・	10
(4) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(5) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、変化の兆しは見られるものの雇用・所得環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、個人や中小企業がスマートフォンアプリを簡単に制作・運用できるクラウド型情報サービス「Bizness Apps JAPAN」を新たに開始したほか、主に既存クライアント向けにシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。コンシューマー事業においては、「スーパーボディ」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」、「熱中！！パチスロ」、「爆釣チャンネル」等、スマートフォン向けコンテンツの強化を行いました。また、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行ったほか、スマートフォン向け無料バーコード読取りアプリケーション「バーコードリーダー/アイコニット」は、ダウンロード開始から1年で300万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、643,504千円(前年同期比10.4%減)、営業損失は、74,780千円(前年同期は、49,288千円の営業損失)、経常損失は、38,016千円(前年同期は、56,359千円の経常損失)、四半期純損失は、51,475千円(前年同期は、41,394千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

当第1四半期連結累計期間より、スマートフォン市場の急速な成長を背景に、報告セグメントを「サービス開発事業」、「コンテンツ事業」及び「システムコンサルティング事業」から「法人事業」及び「コンシューマー事業」に区分を変更しております。また、前連結会計年度において、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発部門を「調整額」で集計しておりましたが、報告セグメントの変更に伴い「コンシューマー事業」セグメントで集計するように区分を変更しております。前年同期比の金額及び比率については、前第2四半期連結累計期間を当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

(法人事業)

法人事業においては、平成24年9月から、個人や中小企業がスマートフォンアプリを簡単に制作・運用できるクラウド型情報サービス「Bizness Apps JAPAN」を新たに開始したほか、主に既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、398,788千円(前年同期比12.1%増)、セグメント利益は、81,513千円(前年同期比38.8%増)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン販売が急拡大し、従来型の携帯電話からスマートフォンへの移行が急速に進みつつあります。当社グループにおいては、「スーパーボディ」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」、「熱中！！パチスロ」、「爆釣チャンネル」等、スマートフォン向けコンテンツの強化を行いました。また、携帯電話ほか各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行ったほか、スマートフォン向け無料バーコード読取りアプリケーション「バーコードリーダー/アイコンット」は、平成24年1月のダウンロード開始から1年で300万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、244,716千円(前年同期比32.5%減)、セグメント損失は、11,506千円(前年同期は、37,722千円のセグメント利益)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,014,353千円(前連結会計年度末から128,431千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,316,657千円(前連結会計年度末から35,095千円の減少)となりました。これは、主として流動資産のその他に含まれている前払費用が7,906千円増加した一方で、売掛金が43,392千円減少したことによるものです。

固定資産は、697,696千円(前連結会計年度末から163,527千円の増加)となりました。これは、主として投資有価証券が172,668千円増加した一方で、有形固定資産が合計9,239千円減少したことによるものです。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、416,302千円(前連結会計年度末から112,290千円の増加)となりました。

このうち、流動負債は、249,754千円(前連結会計年度末から44,419千円の増加)となりました。これは、主として短期借入金が64,000千円増加したこと及び1年内返済予定の長期借入金が43,404千円増加した一方で、買掛金が36,073千円減少したこと、流動負債のその他に含まれている未払金が18,429千円減少したこと及び未払法人税等が10,612千円減少したことによるものです。

固定負債は、166,548千円(前連結会計年度末から67,871千円の増加)となりました。これは、主として長期借入金が68,057千円増加したことによるものです。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,598,051千円(前連結会計年度末から16,140千円の増加)となりました。これは、主として第2四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が51,475千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が60,795千円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ60,030千円減少し、960,328千円(前連結会計年度末は、1,020,358千円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、98,606千円の支出(前年同期は、1,155千円の収入)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純損失を38,016千円計上したこと、仕入債務が36,073千円減少したこと及び法人税等の支払額17,321千円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、144,716千円の支出(前年同期は、499千円の支出)となりました。これは、主として投資有価証券の取得・売却により差引89,226千円を支出したこと、有形固定資産の取得により4,938千円を支出したこと、無形固定資産の取得により972千円を支出したこと及び定期預金の預入により50,000千円を支出したことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、175,431千円の収入(前年同期は、13,917千円の支出)となりました。これは、主として長期借入れによる収入・返済による支出により差引111,461千円の収入を得たこと及び短期借入れによる収入・返済による支出により差引64,000千円の収入を得たことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成24年9月7日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,020,358	1,010,016
売掛金	305,104	261,711
商品	173	151
仕掛品	5,559	11,715
その他のたな卸資産	3,985	10,388
その他	26,210	30,852
貸倒引当金	△9,638	△8,177
流動資産合計	1,351,753	1,316,657
固定資産		
有形固定資産	57,305	48,066
無形固定資産		
のれん	3,898	2,924
その他	4,560	6,487
無形固定資産合計	8,459	9,412
投資その他の資産		
投資有価証券	335,809	508,477
その他	159,245	158,391
貸倒引当金	△26,650	△26,650
投資その他の資産合計	468,403	640,217
固定資産合計	534,168	697,696
資産合計	1,885,921	2,014,353
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,482	25,408
短期借入金	—	64,000
1年内返済予定の長期借入金	24,804	68,208
未払法人税等	18,976	8,364
賞与引当金	2,873	2,647
その他	97,197	81,125
流動負債合計	205,334	249,754
固定負債		
長期借入金	76,251	144,308
退職給付引当金	239	259
資産除去債務	19,146	19,280
その他	3,040	2,700
固定負債合計	98,676	166,548
負債合計	304,011	416,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	△77,872	△129,347
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,645,614	1,594,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102,376	△41,580
為替換算調整勘定	△6,744	△5,436
その他の包括利益累計額合計	△109,120	△47,016
少数株主持分	45,415	50,928
純資産合計	1,581,910	1,598,051
負債純資産合計	1,885,921	2,014,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 8 月 1 日 至 平成24年 1 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月 1 日 至 平成25年 1 月31日)
売上高	718,338	643,504
売上原価	518,617	406,563
売上総利益	199,720	236,940
販売費及び一般管理費	249,009	311,721
営業損失 (△)	△49,288	△74,780
営業外収益		
受取利息	78	2,218
受取配当金	3,691	3,558
投資有価証券売却益	—	7,436
複合金融商品評価益	2,200	15,210
助成金収入	2,819	—
為替差益	790	8,282
その他	784	1,910
営業外収益合計	10,365	38,616
営業外費用		
支払利息	789	1,568
投資有価証券評価損	16,347	—
その他	299	284
営業外費用合計	17,436	1,852
経常損失 (△)	△56,359	△38,016
特別損失		
固定資産除却損	218	—
特別損失合計	218	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△56,578	△38,016
法人税、住民税及び事業税	1,397	6,253
法人税等調整額	△22,608	1,846
過年度法人税等	—	142
法人税等合計	△21,211	8,242
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△35,367	△46,258
少数株主利益	6,027	5,216
四半期純損失 (△)	△41,394	△51,475

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,367	△46,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,115	60,795
為替換算調整勘定	△689	1,604
その他の包括利益合計	△2,805	62,399
四半期包括利益	△38,172	16,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,043	10,628
少数株主に係る四半期包括利益	5,871	5,512

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△56,578	△38,016
減価償却費	10,494	13,961
のれん償却額	1,634	974
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,130	△1,461
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,715	△225
受取利息及び受取配当金	△3,770	△5,776
支払利息	789	1,568
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△7,436
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,347	—
複合金融商品評価損益 (△は益)	△2,200	△15,210
為替差損益 (△は益)	△449	△9,416
固定資産除却損	218	—
売上債権の増減額 (△は増加)	56,305	45,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,017	△12,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,606	△36,073
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,327	1,940
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△261	596
その他の資産の増減額 (△は増加)	△16	△5,574
その他の負債の増減額 (△は減少)	△16,197	△16,506
小計	△3,392	△83,954
利息及び配当金の受取額	3,770	4,422
利息の支払額	△910	△1,753
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,687	△17,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,155	△98,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,206	△4,938
無形固定資産の取得による支出	△678	△972
投資有価証券の取得による支出	—	△204,714
投資有価証券の売却による収入	9,707	115,488
敷金及び保証金の差入による支出	△2,321	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	420
定期預金の預入による支出	—	△50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499	△144,716

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	130,000
長期借入金の返済による支出	△4,669	△18,539
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△36,000
配当金の支払額	△9,248	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,917	175,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,008	7,861
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△12,252	△60,030
現金及び現金同等物の期首残高	1,054,703	1,020,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,042,451	960,328

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	355,807	362,530	718,338	—	718,338
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	12,469	—	12,469	△12,469	—
計	368,277	362,530	730,808	△12,469	718,338
セグメント利益又は損失(△)	58,713	37,722	96,436	△145,724	△49,288

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	398,788	244,716	643,504	—	643,504
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	28,629	—	28,629	△28,629	—
計	427,417	244,716	672,134	△28,629	643,504
セグメント利益又は損失(△)	81,513	△11,506	70,006	△144,786	△74,780

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微です。

(報告セグメントの変更等)

第1四半期連結累計期間より、スマートフォン市場の急速な成長を背景に、報告セグメントを「サービス開発事業」、「コンテンツ事業」及び「システムコンサルティング事業」から「法人事業」及び「コンシューマー事業」に区分を変更しております。また、前連結会計年度において、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発部門を「調整額」で集計しておりましたが、報告セグメントの変更に伴い「コンシューマー事業」セグメントで集計するように区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。